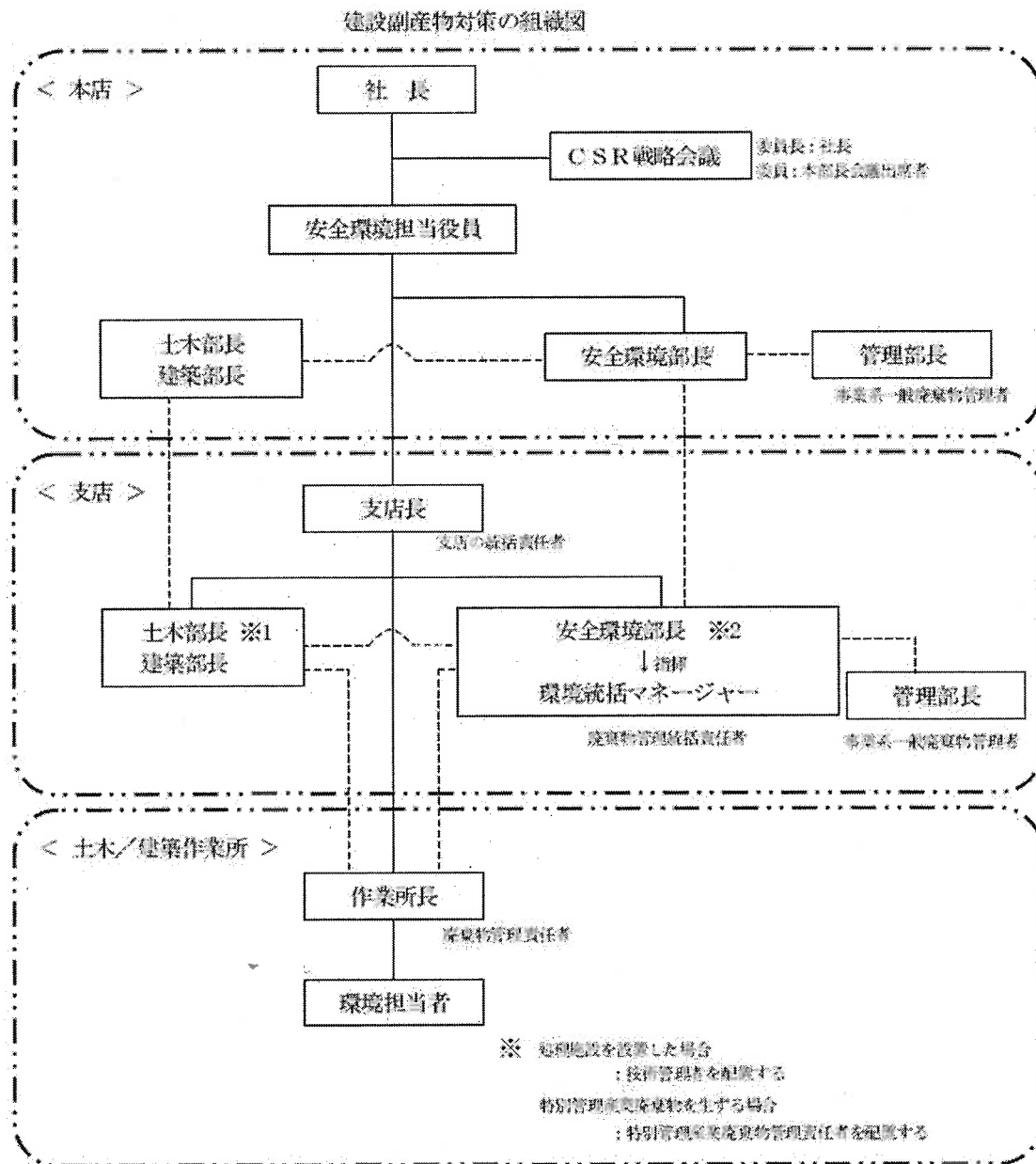


(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2025年 6月 23日	
松江市長 殿	
提出者	
住 所 広島県広島市中区三川町 2-10 愛媛ビル・広島3階	
氏 名 前田建設工業株式会社 中国支店 執行役員支店長 渡辺 勇作 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 082-246-9181	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	前田建設工業株式会社 中国支店
事業場の所在地	広島県広島市中区三川町 2-10 愛媛ビル・広島3階
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D06 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 91億円 (前年度実績 中国支店管轄内)
③従業員数	96人 (中国支店管轄内)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設副産物 産業廃棄物 混合廃棄物 中間処理委託 選別 木くず ベニヤ 造作物 木端材 中間処理委託 破砕 建設資材等 コン・アスコンガラ コンクリートガラ アスファルトガラ はつりガラ 中間処理委託 破砕 再生砕石 廃プラスチック 発砲スチロール プラスチック 中間処理委託 破砕・選別 固形燃料等 金属くず 鉄筋端材 鉄骨・軽鉄端材 塗料・シーリング缶 中間処理委託 破砕・選別 リサイクル 建設汚泥 中間処理委託 脱水・セメント固化 建設資材等 広島市内全域の工事現場 管理型廃棄物 安定型廃棄物 木くず リサイクル・焼却 管理型処分場 紙くず リサイクル・焼却 管理型処分場 石膏ボード 破砕 管理型処分場 リサイクル 金属くず 圧縮・裁断 安定型処分場 リサイクル 廃プラスチック 破砕 安定型処分場 リサイクル ガラス陶磁器 破砕 安定型処分場

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



※1 営業支店の場合は土木施工グループ、建築施工グループに読み替える。以下同じ。

※2 営業支店の場合は安全環境グループに読み替える。以下同じ。

凡例

—— : 主ライン

----- : 連絡・協議

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙1の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・発生抑制を推進するための工法、資材等の検討 ・梱包の簡素化と無梱包化の推進 ・プレカット材の使用と余剰材の削減等 ・搬入時に使用するパレットを廃棄せず納入業者に回収依頼		
② 計画	【目標】 別紙1の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・上記に加え主要構造部（柱・梁・床・階段）のプレキャスト化を図り、現場で発生するコンクリートガラを減量		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・段ボール、紙くずは再生利用出来るように分別
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・上記に加え作業所内での廃プラスチック選別をさらに推進し減量化を実施

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙1の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 特記無し		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 特記無し		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和 6年度）実績】 別紙1の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 特記無し		
②計画	【目標】 別紙1の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 特記無し		

（第4面）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和 6年度）実績】 別紙1の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 特記無し		
② 計画	【目標】 別紙1の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 特記無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙1の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・再生利用業者と優先的に委託契約することで、再生利用の促進を図る ・優良認定処理業者と優先的に委託契約することで安全に再利用の推進を図る		

(第5面)

② 計画	【目標】 別紙1の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・再生利用業者と優先的に委託契約することで、再生利用の促進を図る ・認定熱回収業者の調査を実施		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(令和6年度)実績量

計画：今年度(令和7年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項		自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項										
	排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②) ⁺ (⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③) ⁺ (⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	
燃え殻																			
汚泥																			
廃油																			
廃酸																			
廃アルカリ																			
廃プラスチック類	2.28	2.28	0	0	0	0	0	0	0	0	2.28	2.28	2.28	2.28	2.28	2.28	0	0	0
紙くず	0.15	0.15	0	0	0	0	0	0	0	0	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0	0	0
木くず																			
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず																			
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず																			
鋳さい																			
がれき類	1,964.60	1964.60	0	0	0	0	0	0	0	0	1,964.60	1,964.60	0	1,000.00	1,964.60	1,964.60	0	0	0
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん																			
合計	1,967.03	1,967.03	0	0	0	0	0	0	0	0	1,967.03	1,967.03	2.43	1,002.43	1,967.03	1,967.03	0	0	0